

重要インフラにおける分野横断的演習の 実施概要について～【2016年度分野横断的演習】～

内閣サイバーセキュリティセンターは、重要インフラ事業者をはじめとする約2,080名の参加を得て、本年度で11回目となる分野横断的演習を実施しました。

各参加者ともに、本演習を通じて、IT障害の発生時の関係者との情報共有、連携をはじめ、重要インフラ事業者における対応策、体制の実効性を確認すること等を通じて、IT障害への対応能力の向上を期することができました。

1. 実施日時・場所

2016年12月7日（水） 12：15～17：00
砂防会館別館（東京都千代田区平河町2-7-5）

2. 参加機関等

【重要インフラ事業者等】

13分野（情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油）¹

【政府機関等】

重要インフラ所管省庁（金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）、情報セキュリティ関係機関、NISC 等

合計 約2,080名が参加²

（一部事業者は地方会場及び自職場において参加、見学参加も含む。）

¹ 各重要インフラ分野で整備されている情報共有体制である「セプター」（CEPTOAR）の関係者も出席
（CEPTOAR: Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response）

² 2015年度実績：約1,170名

3. 演習の概要

本演習では、I T障害等の対応における判断や意思決定、社内外との情報共有等の検証を目的として、2部構成で実施しました。

第1部では、各分野においてサービスへの影響が小さいI T障害が発生したことを想定し、関係者間での連携を図ることによる情報共有体制の実効性を検証しました。

第2部では、サービスへ影響が生じるI T障害が発生し、事業継続が脅かされるケースを想定し、情報共有体制における手順の確認をするなど、こうした状態への対処を検証しました。

以上2部構成とすることで、それぞれの課題に対する参加事業者等による対応能力の向上と我が国重要インフラ全体の障害対応体制の強化を図ることといたしました。

(問い合わせ先)

内閣サイバーセキュリティセンター

(担当：荻野、佐藤)

電話：03-3581-8903